小児心臓CT撮影のプロトコル 構築のための検討

東千葉メディカルセンター 放射線部

〇福地 博行 越智 茂博 坂井 上之 嶋川 友里絵 梁川 範幸

【背景】

管球回転速度0.275s/rotの320列検出器CT(Aquilion ONE ViSION EDITION)が導入され、心臓CT検査における高心拍時の冠動脈描出が良好になることが期待される.

さらに.

'検査への応用も期待



【目的】

小児は呼吸抑制が不可能であり, 高心 拍であっても複数心拍からの心電同期画 像再構成は適切ではない. 今回, 小児心臓 CTのプロトコルの作成を目的として, 高心 拍時における管球回転速度と画像再構成 法の関係を検討した.



【使用機器】

- Aquilion ONE ViSION EDITION (TOSHIBA)
- 心臓動態ファントム ALPHA1-VTPC (FUYO株式会社)
- CTテストファントム CT200B型 (京都科学)
- ZIOステーション2 Type1000 (アミン)

【方法-1】

- 心電同期再構成画像の位置依存性 について、MITFを測定
- ・ 管球回転速度の違いによるMTF測定
- 再構成法の違い(Half, Segment)によるMTFおよびNPS測定

スキャン条件 120kV, 200mA, 320列×0.5mm Scan FOV 320mm, Recon FOV 200mm



【方法-2】

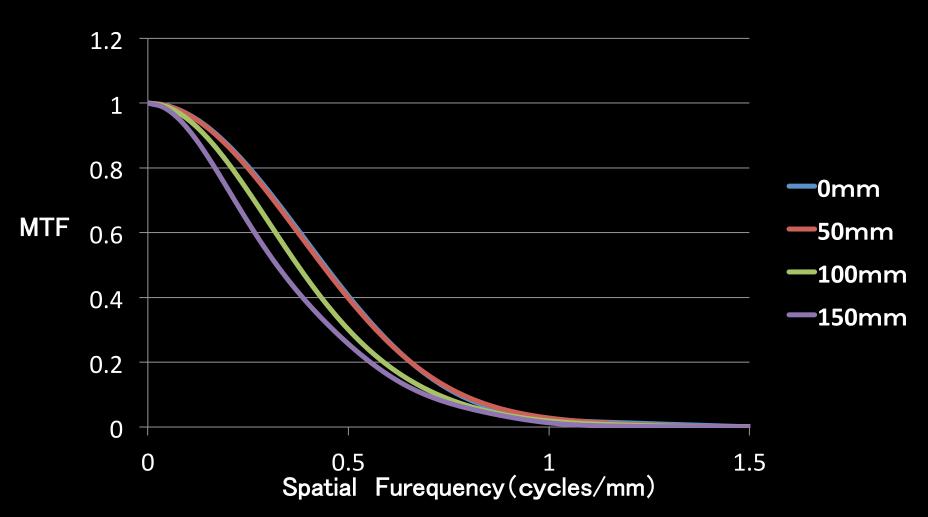
- 過去に受診した3ヶ月~4歳までの小児の心 拍数を調べた。
- 体重別造影剤注入条件の換算表を作成した。
- 心臓動態ファントムに模擬血管(CT値300HU, 3mmΦ)を装着し, 推奨条件(Heart Navi)と0.275s/rot (Half再構成)で撮影した. そのファントムの模擬血管CT値及びアーチファクトについて検討した.

スキャン条件 120kV,300mA,320列×0.5mm Scan FOV 320mm, Recon FOV 200mm



【結果-1】 位置依存性

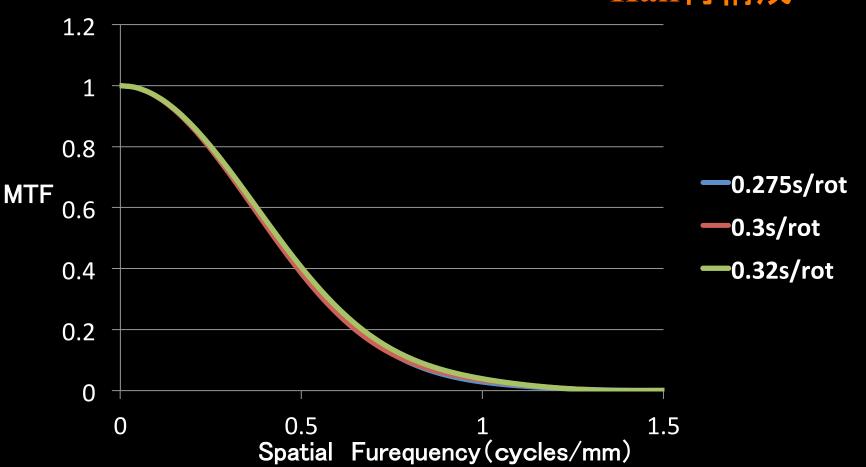
Half再構成





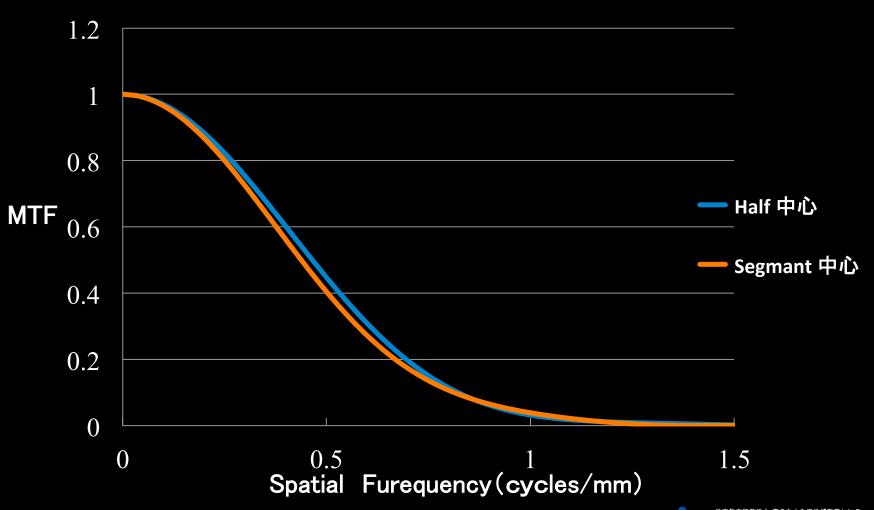
【結果-1】 管球回転速度による比較

オフセンター100mm Half再構成



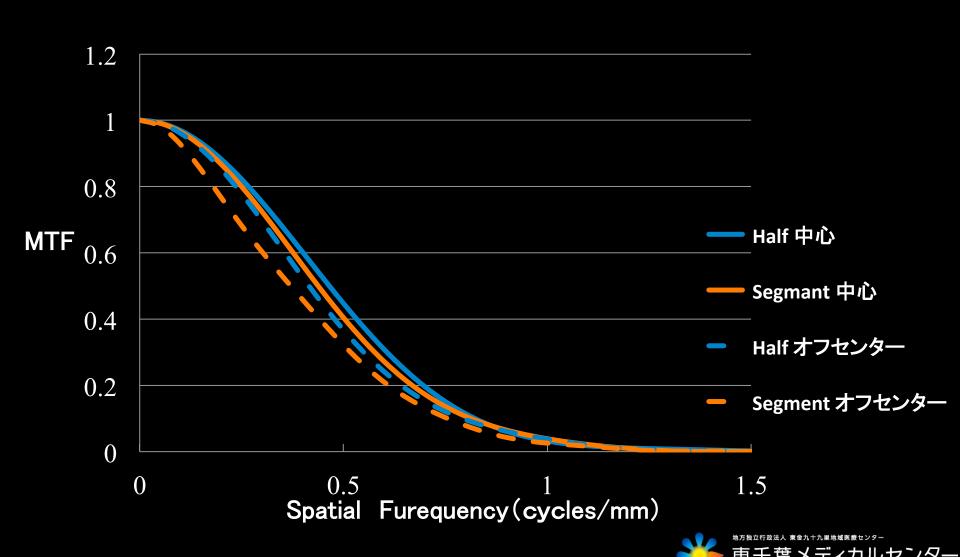


【結果-1】 再構成法の違いによる比較

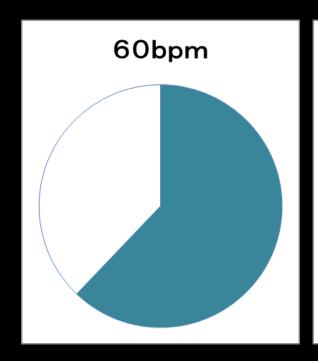


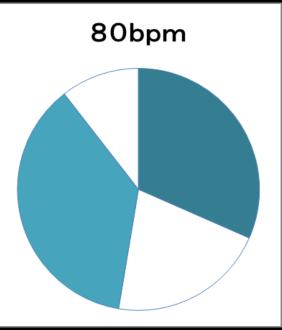


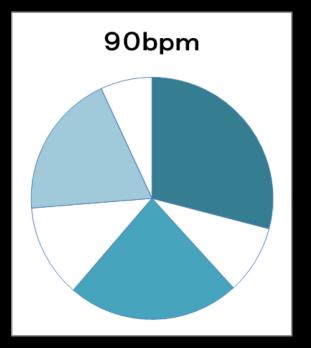
【結果-1】 再構成法の違いによる比較



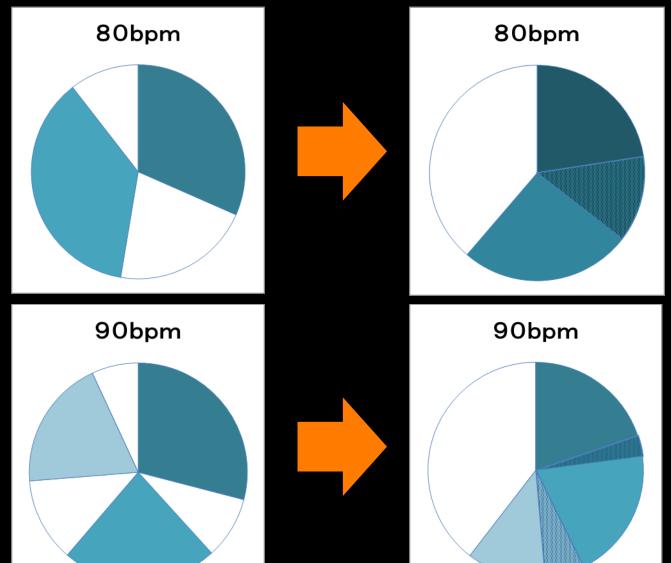
【各心拍数における時間分解能のグラフ】





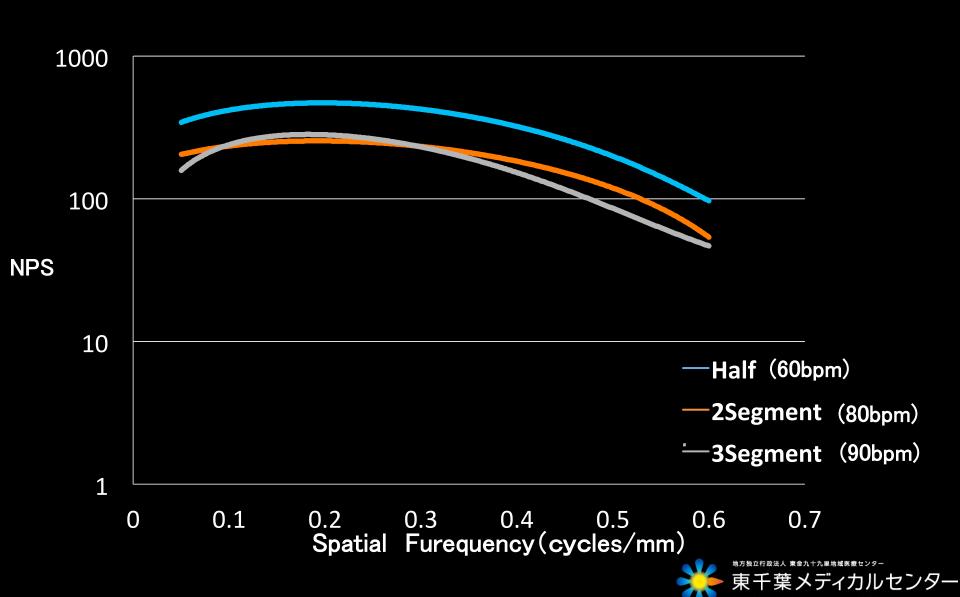


【Half再構成に換算した場合のグラフの重なり】



^{®が独立行政法人 東金九十九里地域医療セッタ−</sub> 東千葉メディカルセンター}

【結果】 再構成法の違いによるNPS



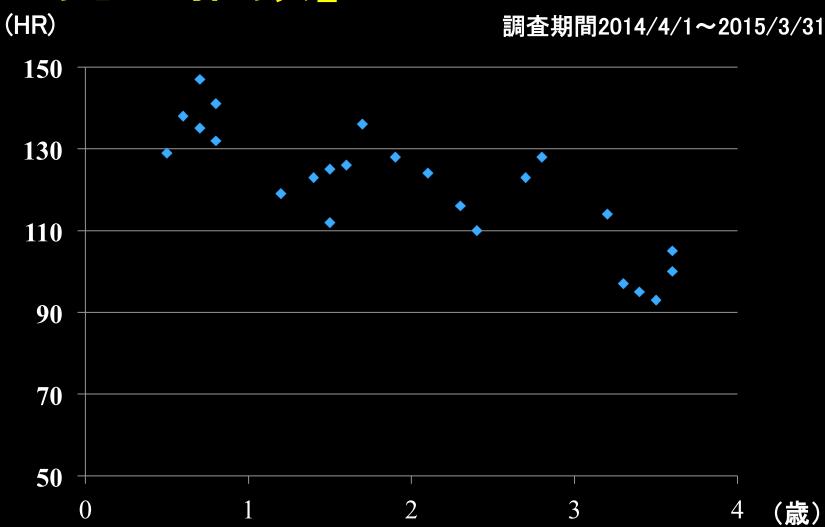
【小括-1】

- ・ オフセンターになるほどMTFは低下 した.
- ・ 管球回転速度によるMTFの変化は ほぼない.
- Half再構成とSegment再構成はMTF およびNPSに差が見られた. Segmen t再構成は取得するデータ幅が多い と推測される.



【小児心拍数】

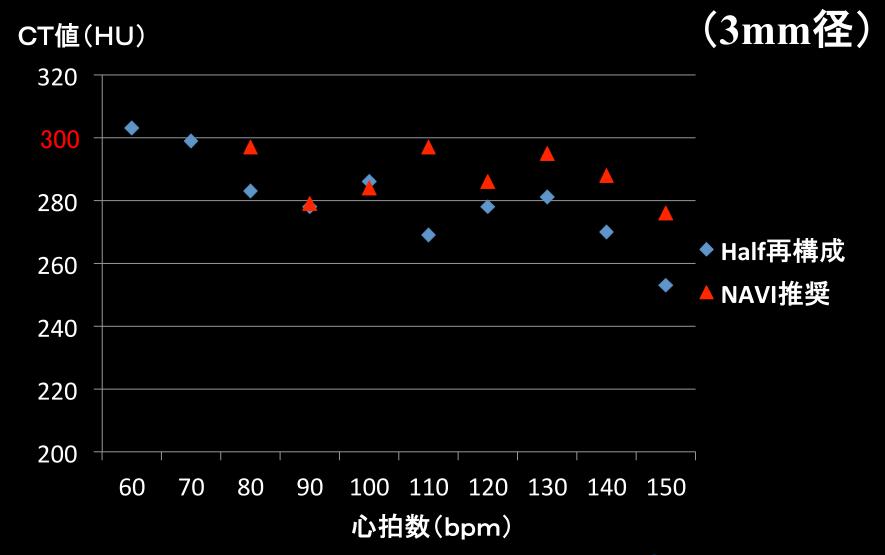
N=25





【結果-2】 模模

模擬血管ファントムのCT値

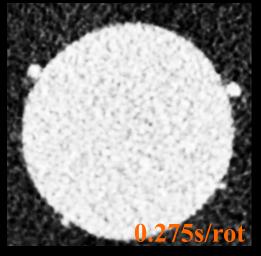


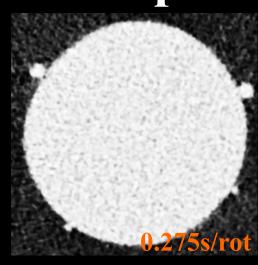


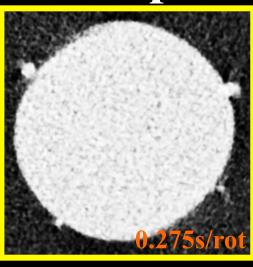
【結果-2】 模擬血管ファントム:中心

80bpm 110bpm 140bpm

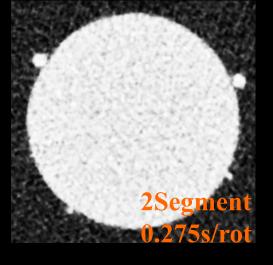


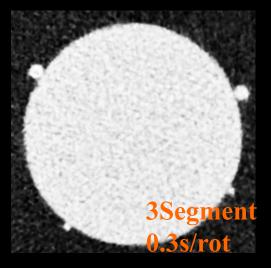


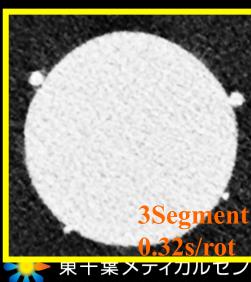








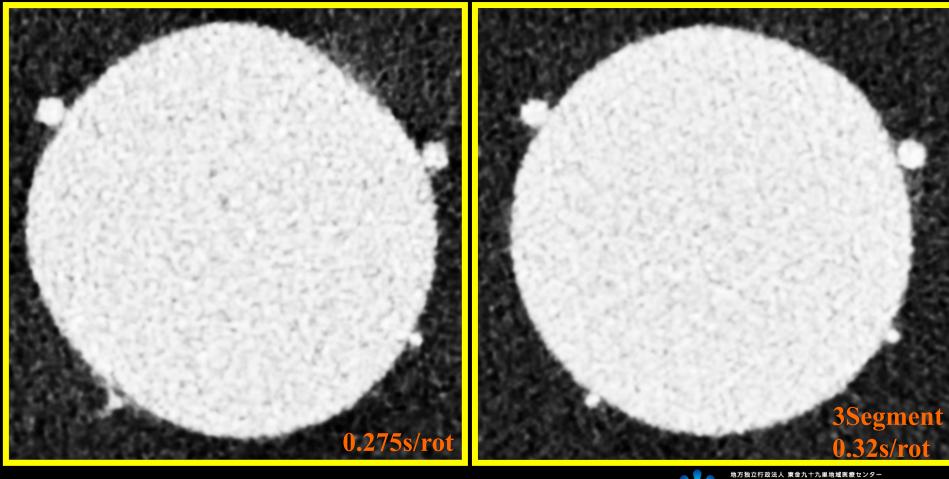




140bpm

【結果-2】 模擬血管ファントム: 中心

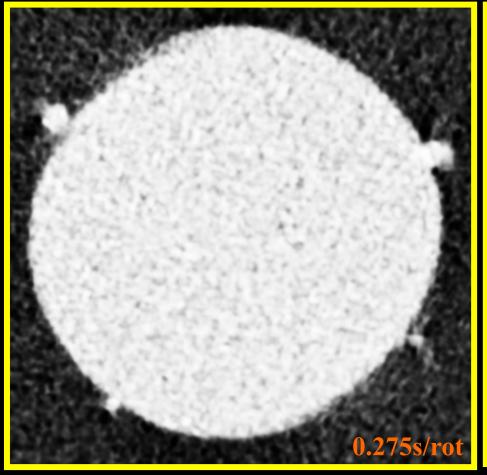
Half

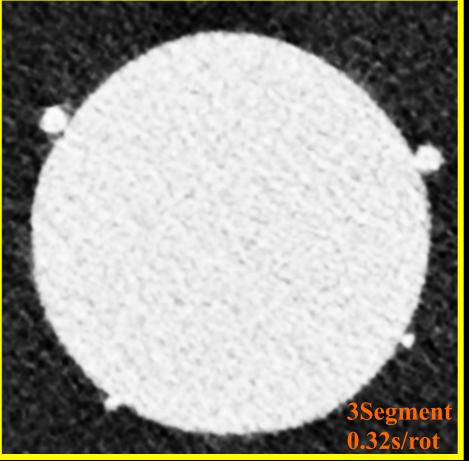


140bpm

【結果-2】 模擬血管ファントム:

100mm



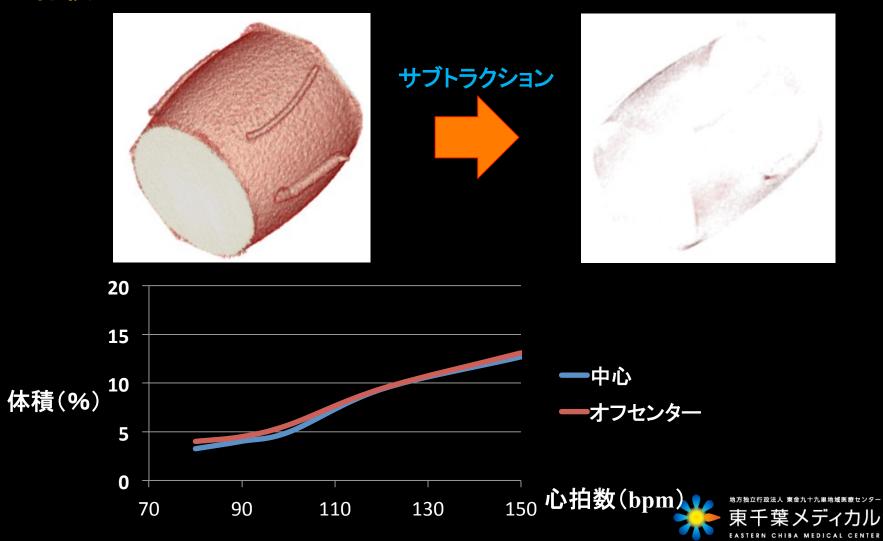


オフセンター

【結果-2】アーチファクトの評価

体積:300cc

Half再構成一NAVI推奨条件



【小括-2】

- ・ Segment再構成は時間分解能を優先した データ収集のためNPSは向上したと考 える.
- 適切な再構成法により血管CT値は担保 されるが、高心拍(130bpm以上)になると CT値が低下する.
- モーションアーチファクトは心拍数が高くなるほど多くなった。アーチファクトの体積が10%を超える120bpmあたりからAxi断面でも視覚的に目立つようになる。



【造影剤注入条件】

- ➤ 300mgI/mL(体重×2mL)
- > Total 30s注入
- > 4段階注入
- ➤ Bolus Tracking使用
- ▶ 注入15秒後からモニタリング開始
- > 左心系が染まり始めたらスキャン開始

金丸 浩, 君島 正一, 麦島秀雄:心臓CT、日本小児放射線学会誌 Vol27No.2, 18-29, 2011 高瀬 圭:小児心臓疾患のCT診断、日本小児放射線学会誌 Vol.24No.2, 51-58, 2008



【体重別換算表】

体重	造影剤	造影剤	造影剤+生食	生食
5kg	0.1 × 1	0.8 × 6	0.8 × 6	0.8 × 4
10kg	0.2×2	1.6 × 12	1.6 × 12	1.6 × 8
15kg	0.3×3	2.4 × 18	2.4 × 18	2.4 × 12
20kg	0.4 × 4	3.2×24	3.2 × 24	3.2 × 16

注入速度(ml/s)×注入量(ml)



【結語】

- ・ 呼吸抑制できない小児心臓CT検査において最短管球回転速度と1心拍Half再構成を用いる場合、モーションアーチファクトおよび血管CT値の低下を考慮した評価が必要である.
- 小児の年齢や必要な臨床情報を考慮 し撮影方法を工夫しなければならない。
- これらを考慮し臨床に応用した.

